

「もりメイト倶楽部さんの力があってこそ、ここまで出来ました！」湯来フ口の皆さんから感謝の言葉。



作業を終え、ホッとひと息。きれいに刈られた斜面をバックにパチリ。おつかれさまでした！



長柄鎌の使い方を教わり、だんだん上手になりました。



刈り払い機の講習を受け、実践に励む山本薫さん(5 班)

今にも雨が降り出しそうな空模様の中、7 時半から、湯来ふるさとプロジェクトのメンバーの方々と共に、テント設営などの準備を始めました。8 時半には検温を済ませ、参加者全員が集合。見勢井もりメイト倶楽部顧問、湯来ふるさとプロジェクトから松波勝子副会長のあいさつに続いて、今回担当の 1 班 和田班長より本日の作業説明があり、A 班から D 班の 4 グループに分かれて、それぞれ駐車場間際の山裾の刈り払いと、散策道周辺の刈り払いを担当する事になりました。また、E 班では鎌田さん(2 班)を講師に迎え、刈り払い機初心者に向けて、操作方法についての説明と実習が行われました。散策路(遊歩道)周辺は、雑草や笹に覆われて非常に歩きにくい状況でありましたが、幸い柔らかい草が中心で作業は順調に進みました。階段際や細かいところは鎌で手刈りを行いきれいに整理した後、熊手やほうきで刈り取った草を処理し、見違えるような散策路になり、来年の春には多くの方にお花見を楽しんでいただけたと思います。蒸し暑い中、皆さまご苦労様でした。

11 時過ぎには作業は完了し、使用した道具の手入れを終え、終礼でそれぞれの班より作業報告がありましたが、ヒヤリハットの報告もなく安全に作業を完了しました。



天狗巣病について詳しく説明してくださる、井本さん。
地元湯来から駆け付けて下さいました

終礼後、湯来プロジェクトのメンバーの方の心づくしの七夕汁（七夕にちなんだ具の入った冷やしそうめん：おいしかったぁー）をいただきました。ありがとうございました。



湯来プロの皆さんが作って下さった「七夕汁」。ヒンヤリ冷たく美味しかった！

～終わりの会での感想から～



「山にはよく登るのですが、これだけの人が参加して遊歩道を作ってくださっている事をはじめて知りました。感激です。」
HPを見て連絡下さり、西区からご参加頂いた男性。



「すべてが初めての体験で、とても新鮮でした。この様な方々によって山がきれいにされているんだ。すごいなぁと思いました。」
湯来プロのチラシで五日市から参加して下さいった一般参加のお父さんと子ども達。